



9月行事予定

日	曜日	主な行事
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	第1回ベネッセ・駿台共通テスト(3年)
7	土	第1回ベネッセ・駿台共通テスト(3年)、看護模試③(3年)
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	
18	水	JICA出前講座(1年生)
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	第2回定期考査①
25	水	定例職員会議、第2回定期考査②
26	木	第2回定期考査③
27	金	第2回定期考査④
28	土	
29	日	
30	月	第2回定期考査⑤、前期終業式、賞状伝達式、サッカー選手権壮行会

2年小沼夢菜さん

日本漢字能力検定2級に合格!



令和6年度 第1回(7月5日) 本校生徒受験結果

	2級	準2級	3級
合格者数	1	2	3
受験者数	6	10	4
合格率	16.7%	20.0%	75.0%

今回は、先月7月5日に実施した日本漢字能力検定で、2級に合格した、小沼夢菜(おぬま ゆな)さんを紹介합니다。

「日本漢字能力検定」、通称「漢検」は1975年(昭和50年)から始まり、今年で49年目という歴史のある検定です。「漢検」は、「実用英語技能検定」、通称「英検」と並んで、みなさんに馴染みのある検定だと思

います。漢検2級は「高校卒業・大学・一般程度、対象漢字数2136字」というレベル設定で、高校3年生でも難しい級になっています。昨年度の全体の合格率は27.9%で、その難しさが分かります。

今回の合格について、小沼さんに話を聞きました。

「中学生の頃に準2級に合格しました。2級も常用漢字が範囲なので、チャレンジしたいとは考えていました。1年生の頃は、学校の勉強の合間に少しずつ漢字を覚えるようにしていましたが、合格できる自信が無かったので受験しませんでした。2年生になったこの4月から、今回の7月の受験に向けて本格的に勉強を始めました。学校の勉強はきちんとこなした上で、それ以外の空き時間や放課後の時

間などを使って漢字を覚えるようにしました。集中できる時は、19時から22時までの3時間を漢字の勉強に充てたりしました。2級では、そもそも知らない言葉が多いのに苦労しましたが、時間があるときには意味を調べたり、ひたすら問題を解いて、間違えたものは何度も繰り返し書いたりして覚えるように工夫しました。使った問題集は3周以上こなしました。受験後は合格できるような手応えは感じていなかったのですが、合格したことが分かったときは本当に嬉しかったです。準1級以上には高校を卒業してからチャレンジしたいと思っています。今後は簿記検定にも挑戦していきたいです。」

前向きに努力する姿が素晴らしいですね。今後のさらなる活躍に期待しています!

北部九州総体2024【7月21日(日)~8月20日(火)】

ボクシング部



ライト級 伊藤光星

2回戦 対 福島・会津工業 ○

3回戦 対 福岡・豊国学園 ×

ライトウェルター級 湊谷寧音

1回戦 対 広島・崇徳 ×

サッカー部



対 神村学園(鹿児島) ×



☆ インターハイに出場して ☆

堀田昊生くん(サッカー部主将・センターバック)

1回戦で、今大会で準優勝した神村学園と対戦しました。プレーの質やレベルが全く違って、スコア的には完敗でした。しかし、全国のトップレベルのチーム・選手と本気で戦えたことがとても良い経験になりました。試合では、ビルドアップ(攻撃へのボール運び)や空中戦など、通用するプレーもあり、手応えを感じました。今後は、個々のレベルアップはもちろん、チームとして決定力やディフェンス力を強化し、選手権大会で秋田県代表として全国に出場し、ベスト16に入れるように頑張っていきたいと思っています。みなさん、応援よろしくをお願いします。

伊藤光星くん(ボクシング部主将・ライト級)

初戦の2回戦は、緊張してしまい、動きが硬くなってしまいました。1度ダウンを取ったのですが、2度ダウンを取られてしまい、苦戦しましたが、手数を出し、3対2の判定で勝つことができました。全国のリングの上で、手が上がって勝利が決まったときにはものすごく嬉しかったです。3回戦は、立ち上がりはうまくいきましたが、途中で予想外の角度からボディをもらってしまい、ABDで負けてしまいました。応援してくださったみなさん、ありがとうございました。高校の部活動は引退しますが、今後は1年生の指導等で卒業まで部に貢献していきたいです。3年間のボクシング生活はとても充実したものであり、礼儀や相手をリスペクトすることなどを学ぶことができました。

中学生体験入学 【7月31日(水)】

由利本荘・にかほ地域の13校の中学校から集まった154名の生徒たちが体験入学に参加しました。生徒会による学校紹介、各系列の体験授業、生徒会による部活動紹介とそれに続く部活動見学を行いました。当日は、体育館もそれほど暑くなく、中学生たちは集中して話を聞く様子が見られました。体験授業はみんな楽しそうに参加していました。実施後のアンケートには

高校を選ぶいい機会になりました。自分が興味のある系列の体験授業を受けることができたので普段どのようなことをしているのかを知ることができました。とても良い時間でした。

生徒会のスライドが分かりやすかったです。

部活動見学では、先輩たちがすごく雰囲気がよく笑顔に接してくれてこちらも話やすかったです。頑張れそうでした！

など、とても前向きな感想が書かれていました。生徒会のみなさん、体験授業のサポートをしてくれたみなさん、ありがとうございました。



生徒会による学校紹介



文理系列・理科



文理系列・数学



文理系列・国語



教養文化系列・書道



教養文化系列・家庭



農業科学系列



ビジネス会計系列



土木系列

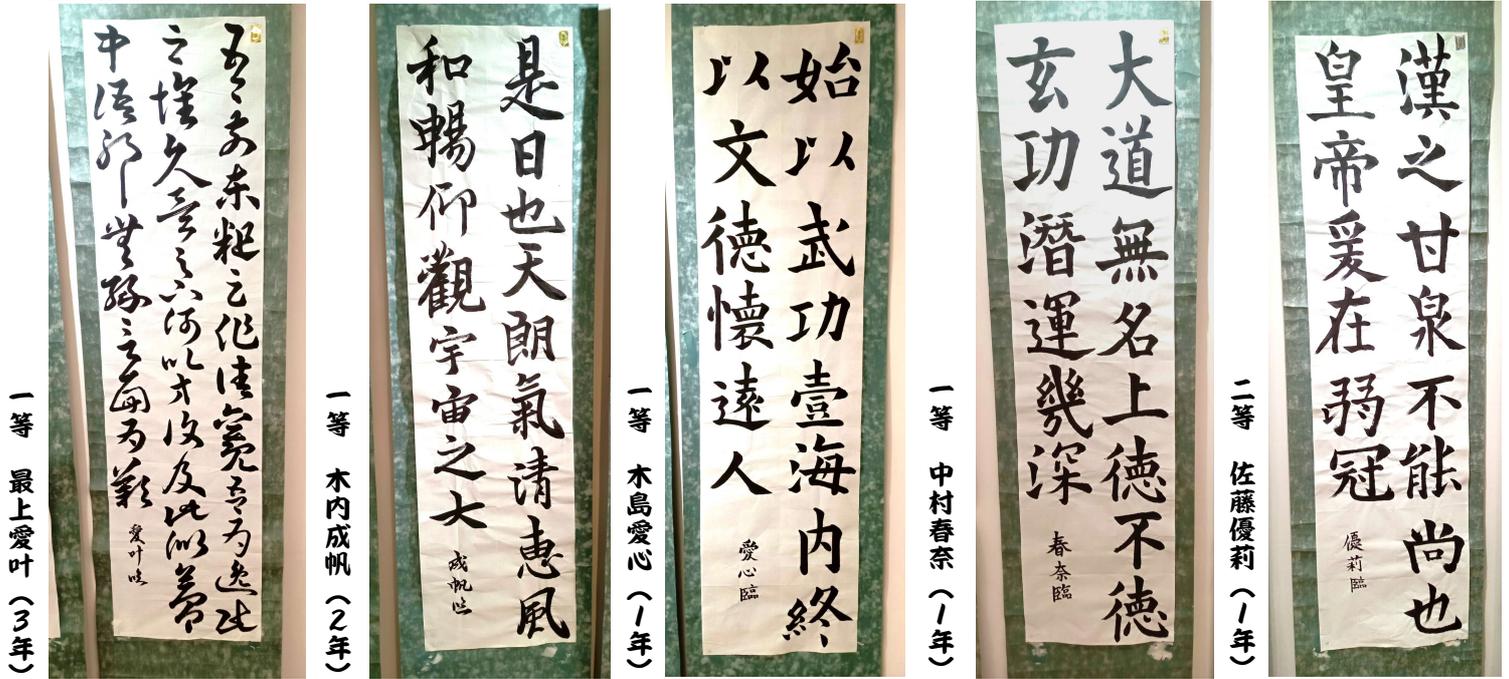
《ビジネス会計系列》

JPX起業体験プログラム「わかものみせ」 【8月3日(土)・4日(日)】

秋田県立大学システム科学技術学部経営システム工学科が主催している「JPX起業体験プログラム」で、ビジネス会計系列の生徒たちが、「わかものみせ」で「cruffy (クルフィー)」というお店を出店しました。商品は「トッピングが楽しめるクロッフル」。大好評で、2日間で商品は完売しました！



第41回全県高校席書大会 【8月7日(水)】



秋田北高校体育館を会場に、全県から26校181名が集まり、席書大会が行われました。1時間以内5枚までという制限と、暑さと湿気と戦いながら、書を揮毫しました。本校から出場した書道部のみなさんは、全員上位入賞という素晴らしい結果でした。



合格体験記の紹介④ (「進路の手引」より)

今回は、株式会社アルプス物流に合格した加賀杏菜さんです。在校時代はボクシング部に所属し、マネージャーとして献身的に選手のサポートや物品の管理などを行っていました。文武両道で頑張った生徒です。

「進路実現に向けて」

教養文化系列 加賀杏菜

私は教養文化系列を選択し、様々な資格取得を目指しながら進路を決めてきました。私自身はギリギリまで就職か進学で悩み進路を決定したため、進路決定で悩んでいる人は多いと思いますが、毎日やるべきことをやっていれば急な進路変更があっても対応できます。頑張ってください。それでは、私が進路実現に向けて努力してきたことを紹介します。

1 自分から行動する

私は3年生の初めに、進路を就職に決めました。早い段階で過去の求人票から自分の希望する職種や企業について調べたり、進路指導の先生に企業に連絡してもらったりと自主的に行動しました。また、職場見学に行く企業を一つに絞らないことで、より自分が行きたいと思う企業を見つけることができ選択肢が広がりました。自分から行動することで先生も助けてくれます。自分の進路に後悔が残らないように早めに行動しましょう！

2 経験を生かす

私は3年間、部活動に所属していたため、志望動機や自己PRなど自分をアピールできるところで部活動を通して得たことを話すことができました。また、部活動だけでなく、ボランティア活動や資格取得などの経験も生かすことができたと感じています。仮に部活動に所属していない

人であっても、他の高校生活で経験して得たことで自分をアピールできるので、残りの期間で資格取得など積極的に頑張ってください！

3 試験に向けての準備

私は、特に面接練習と資格取得に力を入れました。面接練習では、最低でも10回を目標にと言われ正直多いと感じましたが、10回以上、回数を重ねることで試験当日では自信をもって答えることができました。どんな質問にも答えられるように、毎日ニュースを必ずチェックし、自分の意見をすぐ言えるように準備しました。また、私は会社の中で事務職を希望していたため、事務職についての質問を多くまとめていました。企業や自分のことはもちろん、なぜその職種がよいのかなど、想定できる質問内容を面接ノートにまとめておくとよいと思います。事務職ではパソコン操作も必要になってくるため、パソコン検定の資格を取得しました。資格はあるだけ有利なので貪欲に取得を目指しましょう。

4 最後に

3年間はあっという間に過ぎていきます。特に3年生は、1年過ぎるのがとても早く感じます。今から進路についてよく考え、自分の納得のいく進路実現を目指して頑張ってください！3年生は行事も全部最後になるので、怒られすぎないように友達と楽しんでください！！

5 おすすめ参考書・問題集

『事務職・一般職SPI3の完全対策 2024年版』 実務教育出版